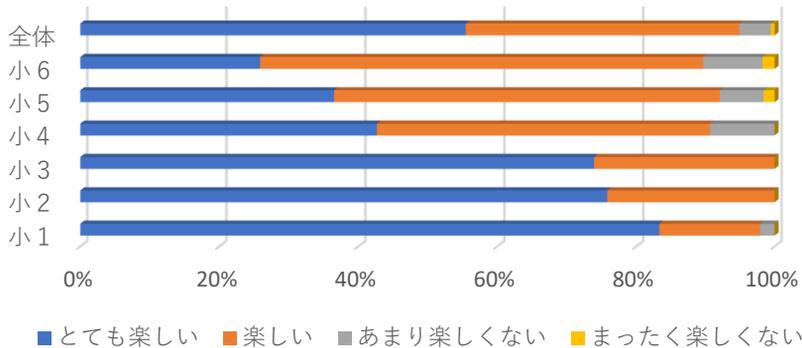


# 令和6年度 外国語科に関する調査結果

天草市立本渡南小学校

## 外国語科の授業は、楽しいですか。

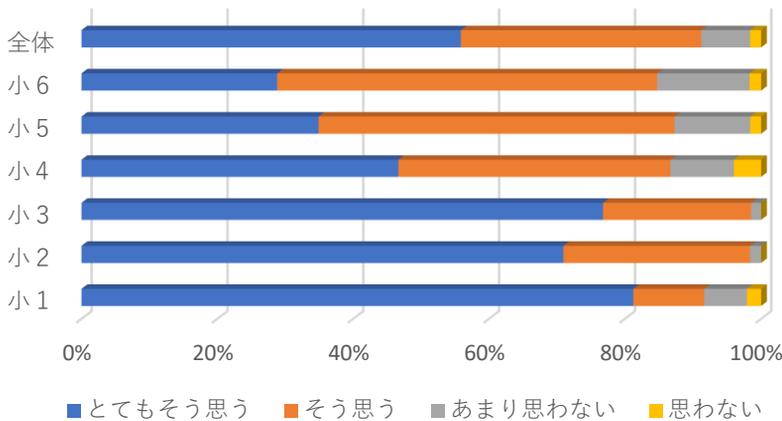


約95%の児童が外国語科の授業は楽しいと答えている。どの学年も、楽しいと答えている児童の割合が多いが、学年による差があり、英語を使ったゲームなどを通して活動をする低学年の授業に対して、考えたりすることが多くなる5,6年生の授業になると楽しくないと答える割合が増えてくる傾向にある。

中学年では、話す・聞く活動、高学年では、話す・聞く活動に加えて、読む・書く活動がある。

全体を通して、わくわく感を感じられる授業を心掛け、学年による差を少なくしたい。

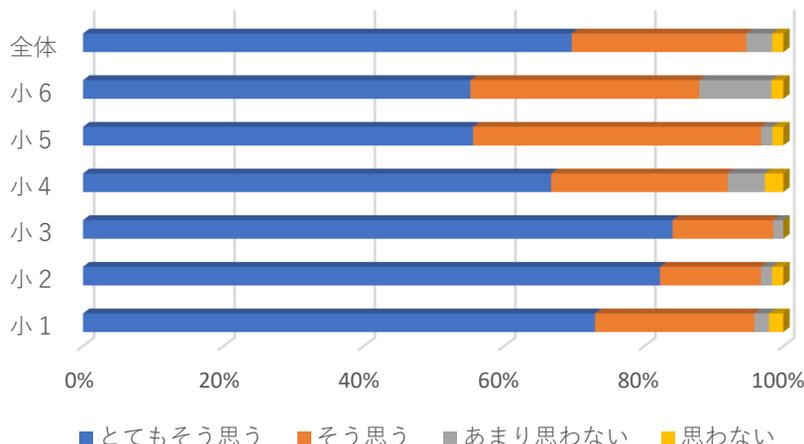
## 外国語科の授業は、好きですか。



約91%の児童が外国語の授業が好きだと答えている。昨年度と比べると外国語の授業が好きと答えた児童の割合が増加した。授業では、英語を使って相手意識を持って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。一方で高学年では教科書改訂の年でもあり、内容が多くなり、難しさを感じる児童もいる。

児童が苦手意識を持つことがないよう、能動的に学び、よく分かり、好きになるような授業づくりを工夫していきたい。

## 英語をもっと話せるようになりたいですか。



学校全体の約95%の児童がもっと英語を話せるようになりたいと答えている。

毎時の授業の中でのコミュニケーションタイムやスモールトークの時間の中で、学んだ英語を使って友達と会話を楽しんだり、また授業外でも英語で声掛けをすると、自然と英語で返してきたりする児童がたくさんいた。

また、ALTと積極的に話す児童も増えてきた。

全体的に、英語に興味を持ち自分が伝えたい英語の表現や語彙を質問し、工夫して伝えようとする姿が多く見られた。

### ～保護者・学校関係者より～

- ・日常の出来事の中に英語を取り入れたような活動で、子どもたちがとても楽しそうでした。見ている私も参加したくなるような授業で、子どもたちが楽しく学べるようにするための先生の準備や工夫が素晴らしいと思いました。
- ・授業では児童同士での英語を使ったやりとりができ楽しいと思えるような工夫がされていました。例えばイラストが描かれたカードを積極的に用いて、言葉だけでなく物のやり取りを行うことで、より実生活での体験に近づけることができていると感じました。また、単元ゴールを児童と共有することで、児童は学習している英語表現の目的や場面をイメージしながら使っていくことができると感じました。
- ・熊本市内の他校の児童と英語を使って交流ができ、子どもたちの緊張とやる気と笑顔が印象的でした。また、発表の際にはタブレットを用い、英語でしっかりと発表していました。
- ・積極的に英語を使って、話したり聞いたり書いたりする中で笑顔がたくさん見られ楽しむ子どもたちの姿が印象的でした。
- ・外国のことを知るための手立てが抜群でした。「百聞は一見にしかず」を実践されていました。カナダとの通信は子どもの興味・関心を引く最上の方法です。現地の人とのコミュニケーションは、子どもの心に深く残ります。そこまで設定する企画力と運営力がすばらしいです。
- ・授業のテンポが素晴らしいと思いました。子ども達が英語の波に乗っているような流れるような授業でした。理由を考えた時に、勿論、先生のテンポもあるかと思いますが、子ども達が流れを理解している（見通し）、または、このリズムを心地よいと感じているからだと思います。
- ・子どもたちが理解できるような組み立ての工夫がなされていたのが印象的でした。子どもたちの中で一人も飽きることがなく、子どもたちも私も終始わくわくの連続でした。
- ・リモートで海外の方とコミュニケーションを取ることができ、子ども達は興味を持って取り組むことができているようでした。また、現地の時間や雰囲気を味わうことができるので、とても魅力的な授業でした。子どもたちも私も興味・関心があふれる授業でした。